

環境省主催  
令和3年度  
自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの  
人材育成支援事業

インバウンド研修 募集要項

※本研修会は環境省の業務で、公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEEF)や一般社団法人日本エコツーリズム協会(JES)が実施します。

研修はオンラインで開催します。

募集期間：2021年5月26日(水)～6月10日(木)

研修に参加できる地域には、申込時の参加地域(チーム)の代表宛に、メールで「参加のご案内」をお送りします(6月17日(水)予定)。

研修期間：2021年6月24日(木)～7月2日(金)

目次

1. はじめに	2
2. 研修会のカリキュラムとスケジュール	3
3. 参加のための通信環境の設定	8
4. 受講する際のお願いについて	8
5. 参加申込について	8
6. お問い合わせ先	9
7. 講師プロフィール	10
8. 事前課題について	13
添付	14

(記入例) 事前課題シート 3件

(記入用) 事前課題シート 3部

事前課題シートは、研修に参加する地域のみ提出です(提出期限：2021年6月22日(火))。

## 1. はじめに

本研修は、国立公園満喫プロジェクト人材育成支援事業に過去に参加した地域を対象として「訪日外国人観光客を受け入れるための準備が地域で始められるようになる」ことを目標としており、地域における訪日外国人観光客の受け入れに向けた知識を提供し、自然体験コンテンツの造成（旅行商品等の企画作り）を学びます。

研修は、「動画教材（YouTube）」による自習と、「オンライン会議システム（Zoom）」を組み合わせており、オンラインで開催します。研修への参加は個人ではなく3人程度のチーム（後述）で受講していただきます。

研修の進め方の概要は以下の通りです。

1. チームは、活動が一緒の地域のメンバーで構成してください。  
インタープリター・ガイド等現場で活動する方と地域のサポーター（観光協会、施設職員、行政等）から構成する、計3人程度のチームで応募してください。
2. 研修は、これまであまりインバウンドに取り組んでこなかった地域を想定してまいります。チームのグループワークを通して、「訪日外国人観光客向けの、自然体験コンテンツを中心とした旅行商品の企画作り」に取り組みます。
3. 「自習期間」中に「動画教材（YouTube）」による自習を行います。動画教材は全て、研修の期間中にチームの全員がご覧ください。
4. 「オンライン集合日」に「オンライン会議システム（Zoom）」を使用して、発表や講義を行います。開催日は6月28日（月）と7月2日（金）です。  
なお、運営の都合上、各チームのメンバーは原則一つの場所に集合し、1台の機器（パソコン）で参加してください。
5. 訪日外国人観光客向け旅行商品の企画に際し、講師と参加チームとの「個別カウンセリング」を行います（Zoomを使用）。「個別カウンセリング期間」は6月30日（水）～7月1日（木）です。時間調整は事務局を中心に進めます。
6. 参加対象は6地域程度を想定しています。昨年度の集合研修に参加された地域（チーム）を優先します。応募多数の場合は、申込時の「研修の志望動機」（200字～400字程度）を参考に参加地域を決定いたします。申込数が満たなかった場合は、過去、集合研修に参加した地域が参加する場合があります。

## 注記

エコツーリズムのススメ（環境省のホームページ）に、昨年度までの動画教材のアーカイブが掲載されています。本年度の動画教材は、別途、参加地域に向けて、各々の自主学習期間の前日迄にお知らせしますので、そちらの動画教材の視聴をお願いします。



[http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/env/chiiki\\_shien/jinzai/index.html](http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/env/chiiki_shien/jinzai/index.html)

## 2. 研修会のカリキュラムとスケジュール

### 本研修の獲得目標

#### 「訪日外国人観光客を受け入れるための準備が地域で始められるようになる」

上記の目標のため、この研修では以下を行います（カッコ内は対応する科目）

- ・ 訪日外国人観光客向けツアーの実態を知る  
（ガイド現場の実際）
- ・ 訪日外国人観光客の目線・特徴を学ぶ  
（ガイド現場の実際、講義 1、6、9）
- ・ 訪日外国人観光客目線のプログラム作りの特徴を学び、演習する  
（講義 6、7、8 実習 1、2、3）
- ・ 日本の自然の価値を学ぶ  
（講義 4、5）
- ・ インバウンドツアーのマーケティング、プロモーションの特徴を学ぶ  
（講義 2、3、9）
- ・ インバウンドツアーに特徴的なリスクマネジメントの観点を学ぶ  
（講義 6）
- ・ 専門的にインバウンドツアーを行っていない事業者でも、対応できるということを知る  
（講義 4）
- ・ 現在の世界の状況を踏まえた、旅行者の誘致戦略を知る  
（講義 3）

### 研修の全体スケジュール

日程	内容
6月24日（木）～6月27日（日）	自習期間（1）「動画教材（YouTube）」視聴
6月28日（月）	オンライン集合日（1）
6月29日（火）～7月1日（木）	自習期間（2）「動画教材（YouTube）」視聴 うち、6月30日（水）～7月1日（木）は個別 カウンセリング期間 チームで課題に取り組む期間
7月2日（金）	オンライン集合日（2）

自習期間（1） 6月24日（木）～27日（日）

所要時間	講義	内容	講師
	開会式／オリエンテーション	主催者あいさつ・研修会全体の構成と実施方法の確認など	主催者、事務局
約 31 分	ガイド現場の実際	訪日外国人観光客の旅のスタイルを知り、実際に行われるガイドの様子を見ます。インバウンドツアーに求められる外国語スキル、内容、姿勢を講師の経験から学びます。	古屋絢子
15～30 分程度	旅行業界の DX（仮）	新型コロナウイルスの感染拡大により旅行業界の DX（デジタルトランスフォーメーション）が進みました。ガイドの視点から、DX の基礎知識と注目の取組を紹介します。	古屋絢子
約 35 分	講義 1：訪日外国人観光客目線のコンテンツづくりについて	（受けること・受けないこと）についてプログラムの作り方、そのための地域との関係作り（地域で訪日外国人観光客を受け入れる際に大切なこと等について）	府川尚弘
約 27 分	講義 2：地域における販促戦略	マーケティング、プロモーション、販売促進について	府川尚弘
15～30 分程度	講義 3：現在の世界の状況を踏まえた、旅行者の誘致戦略を知る（仮）	国ごとのニーズの違い、現在のトレンド、日本政府としての戦略（グローバルキャンペーン、自然コンテンツの扱い）等	日本政府観光局（JNTO）
約 31 分	講義 4：日本の価値を学ぶ-1 外国人向けガイドの実際事例紹介	日本の価値を学ぶ-1 世界における日本の自然、文化、食等の価値を解説／知床の事例紹介	松田光輝
約 35 分	講義 5：日本の価値を学ぶ-2	外国人に人気の動物・自然、外国人に刺さらない動物・自然など	横山隆一
約 14 分	講義 6：リスクマネジメント	インバウンドツアーで発生するトラブルの実例をもとに、その原因と、対応策を解説します。リスクマネジメントの視点から、ガイド・企画者が備えておくべきことにも触れる。	古屋絢子
約 23 分	講義 7：ツアーの様々な工夫の紹介	インバウンドツアー参加者の満足度を上げるためのヒントを紹介します。	古屋絢子

※動画の URL は参加者に別途お知らせいたします。

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

※6月24日（木）～26日（土）の間に、講師への質問を受付いたします。

オンライン集合日（1）（6月28日（月））に、講師が質問に回答する時間を設けます。質問の方法は、研修の参加地域にお送りする「参加のご案内」でお知らせします。

オンライン集合日(1) 6月28日(月)

チームごとに「事前課題」のプレゼンテーションをしていただきます。

各チームのメンバーは、原則一か所に集合し、1台の機器で参加してください。

時刻	所要時間	科目	内容	担当
9:15	0:15	受付開始		
9:30	0:30	オリエンテーション	主催者あいさつ、 講師、各チームの自己紹介 研修会全体と実施方法の確認	事務局
10:00	1:10	実習1：地域の資源紹介（発表）： 前半	資源名・資源概要・外国の方に 紹介したい・興味を持ってもら えると思った理由等。講師より フィードバックがあります。 各チームの持ち時間：15分（発 表10分、質疑コメント5分）	ファシリ テーター 古屋絢子 野口貴裕 松田光輝
11:10	0:10	休憩		
11:20	1:10	実習1：地域の資源紹介（発表）： 後半	前半と同様	ファシリ テーター 古屋絢子 野口貴裕 松田光輝
12:30	1:00	昼食休憩		
13:30	0:45	質問に対する回答	講師宛の質問に、講師から回答 します。 ※質問は、自習期間(1)6月24 日(木)～26日(土)の間に受 付します。	ファシリ テーター 古屋絢子 野口貴裕 松田光輝
14:15	0:10	休憩		
14:25	0:45	地域資源を旅行商品にするヒント (仮)	エコツーリズムの根幹には、地 域資源があります。それを発掘 し、活かし、持続可能な観光を 実現するには、どのようなプロ セスが求められるのでしょうか。 講師からアドバイスやヒントを いただきます。	ファシリ テーター 古屋絢子 野口貴裕 松田光輝
15:10	0:10	休憩		
15:20	1:15	参加者同士の交流	ブレイクアウトルーム機能を使 って少人数(5～6人程)での対 話を行います。	ファシリ テーター
16:35	0:10	次回までの課題の確認、個別カウ ンセリングの予約手法的確認		事務局
16:45		終了		

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

※研修の終了時間は、17:15頃になる場合があります。

**自習期間（２）** 6月29日(火)～7月1日(木)

動画で自習し、チーム内で訪日外国人観光客向け旅行商品の企画を行います。

所要時間	講義	内容	講師
約 31 分	講義 8：旅行商品づくりのスキーム (ガイドの視点から)	訪日外国人観光客向け旅行商品を作る際の手順とポイントを解説します。	古屋絢子
30～40 分 程度	講義 9：ランドオペレーター・インバウンドエージェントの視点から（仮）	実際の旅行商品がどのように作られ、プロモーションされ、お客様がやってくるのか、どんなプログラムにニーズがあるか、実際に誰にどのように売り込めば良いか、地域に期待することを紹介します。	野口貴裕
適宜	実習 2：旅行商品案作り	各チームでツアープログラムの作成を行い、適宜講師やファシリテーターとスケジュール調整の上、個別カウンセリングを行います。	参加者

※動画の URL は参加者に別途お知らせいたします。

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

#### **個別カウンセリング期間**

開催は 6 月 30 日(水)～7 月 1 日(木) です。

7 月 2 日(金) オンライン集合日(2) は、参加地域(チーム) で作成した「訪日外国人観光客向けの、自然体験コンテンツを中心とした旅行商品案」を発表します。それに向けて、講師と参加地域との個別カウンセリングの機会を設けます。

※個別カウンセリングの開催日時は、参加チームと講師の予定をマッチングし、決定します。

#### **参考：時間があれば、ご覧ください**

古屋絢子講師「コロナ禍後の新たな旅のヒント」

コロナ禍後、地域で訪日外国人観光客の受け入れを進めていくにあたり、これまでなかった配慮やサービスが求められます。そのヒントとなる動画は、研修の参加地域にお送りする「参加のご案内」でお知らせします。

オンライン集合日 (2) 7月2日 (金)

チームで企画した旅行商品を発表し、講師や参加者からフィードバックを行います。  
各チームのメンバーは、原則一か所に集合し、1台の機器で参加してください。

時刻	所要 時間	科目	内容	担当
9:45	0:15	受付開始		事務局
10:00	0:15	開会 今日の流れの確認		ファシリテーター
10:15	1:30	実習3：旅行商品の発表（前半）	相互評価（講師から&参加者も全員フィードバックを書く） 発表を受けての講師からのコメント 各チーム 20分程度	ファシリテーター 古屋絢子 野口貴裕 松田光輝
11:45	1:00	昼食休憩		
12:45	1:30	実習3：旅行商品の発表（後半）	前半と同様	ファシリテーター 古屋絢子 野口貴裕 松田光輝
14:15	0:10	休憩		
14:25	0:20	実習3：フィードバックを読む &グループ内意見交換	参加地域ごとのブレイク アウトルームを作成	ファシリテーター
14:45	0:30	ふりかえり	参加地域ごとのブレイク アウトルームを作成	ファシリテーター
15:15	0:10	アンケートの記入		
15:25	0:10	閉講式&事務連絡		ファシリテーター
15:35		終了		

※チームのメンバーは、原則一つの場所に集合し、1台の機器でご参加いただきます。

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

※研修の終了時間は、16:00頃となる場合があります。

### 3. 参加のための通信環境の設定

YouTube の視聴と Zoom を利用できる機器（パソコン、タブレットなど）をご用意ください。オンライン集合日は、有線 LAN や WiFi など十分な通信速度が保てる環境でご参加ください。また、機器にはカメラ・マイクを接続して、または内蔵しているものをご用意ください。

※チームのメンバーは、原則一か所に集合し、1 台の機器で参加してください。難しい場合は、事前に事務局へご連絡ください。

※研修で使用する端末（PC 等）に、Zoom のソフトウェア（ミーティング用 Zoom クライアント）を事前に（最新バージョン：5.6 以上）インストールしていただく必要がございます。事前に、当日利用する端末から、Zoom の URL にアクセスいただき、案内に従ってインストールお済ませ下さい。（最大で 15 分ほど要します）

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

※事前に Zoom の接続確認を行いたい場合は、お申し込みフォームの要望・質問欄にてお申し出ください。事務局が対応いたします。

### 4. 受講する際のお願いについて

インバウンド研修は、昨年度もオンラインで開催しました。しかし昨年度は、参加者が途中で離席する場面が見られました。オンライン研修は参加しやすいのがメリットですが、こうした事態は課題として挙げられます。

お申し込みの際は、チームの全員が、自習期間（1）は P4 の、自習期間（2）は P6 の動画をそれぞれ視聴し、6 月 28 日（月）と 7 月 2 日（金）のオンライン集合日は、研修に参加できるよう、予定を調整しお申し込みください。

※個別カウンセリングの開催日時は、参加チームと講師の予定をマッチングし、決定します。

### 5. 参加申込について

チームの代表者はチーム内の参加者を取りまとめ、下記の参加申込フォームにご記入の上、送信ください。

「研修の志望動機」（200～400 字）を必ずご記入ください。

【申し込み締切：2021 年 6 月 10 日（木）】

<https://forms.gle/...>

## 6. お問い合わせ先

### A コース担当

公益社団法人日本環境教育フォーラム 担当：小堀

〈電 話〉 03-5834-2897 〈メール〉 [kobori@...](mailto:kobori@...)

つながらない場合はこちら→携帯 090-7520-5982（小堀携帯）

### B コース担当

一般社団法人日本エコツアーリズム協会 担当：坪根

〈電 話〉 03-5437-3080 〈メール〉 [tsubone@...](mailto:tsubone@...)

※事務局からのご連絡は原則チームの代表者の方にお送りします。各メンバーへのご連絡はチームの代表者からお願いいたします。

## 事前課題について

事前課題シートは、インバウンド研修に参加する地域に作成していただきます。

研修は、講師のアドバイス等を交えながらワークショップ形式で、「訪日外国人観光客向けの、自然体験コンテンツを中心とした旅行商品の企画作り」を行います。

予め、実習で使用する資料をご準備いただくためチームで話し合い、「訪日外国人観光客に紹介したいと思う地域の資源、または訪日外国人観光客に興味を持ってもらえると思う地域の資源」について、3つ程度を選定してください。そして別添の課題シートにまとめ、メールで各コース事務局宛にご提出ください。

【提出期限：2021年6月22日（火）】

事前課題は、6月28日（月）に開催するオンライン集合日（1）「実習1：地域の資源紹介」で発表してもらいます。発表時間は10分／地域です。

発表する課題は3つでも、1つを集中して取り上げても結構です。

事前課題

記入例 1

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」シート

地域名 中山道 三留野 かぶと観音

<p>資源の写真</p>	
<p>資源の名称</p>	<p>かぶと観音</p>
<p>資源の概要</p>	<p>江戸時代中期（貞享・元禄期）の建物で、木曾郡内のお堂では最古級である。平安時代末期に活躍した武将 木曾義仲が北陸に出兵の際、戦勝を祈願し、兜の中に納めていた十一面観音を祀ったお堂として、古くから人々に信仰されている。石の十一面観音菩薩像は兜を抱え、その伝説を象徴している。境内には義仲の腰掛石や巴御前の袖振りの松などもある。なお、同じ敷地内には神社もある。</p>
<p>「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ひとつの敷地内に神道の神社と仏教の寺院が共存する事例は、海外の方にはとても珍しく感じられるから。</li> <li>◆女性的で優美な造形の観音菩薩が兜を持っていることが珍しいから。</li> <li>◆かぶと観音にまつわる、木曾義仲の伝説を紹介することで、侍の文化や宗教の話題にも展開できるから。</li> </ul>
<p>資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等（参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います）</p>	<p><a href="http://www.town.nagiso.nagano.jp/kankou/midokoro/nagitsuma/midokoro_17.html">http://www.town.nagiso.nagano.jp/kankou/midokoro/nagitsuma/midokoro_17.html</a>  <a href="https://ameblo.jp/kisomeisui/entry-10453882480.html">https://ameblo.jp/kisomeisui/entry-10453882480.html</a></p>

事前課題

記入例 2

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート

地域名 八王子市 高尾山

<p>資源の写真</p>	
<p>資源の名称</p>	<p>高尾山の修験道</p>
<p>資源の概要</p>	<p>高尾山は、真言宗智山派の大本山である「高尾山薬王院有喜寺」を中心とする山岳信仰の霊山として、江戸時代から広く信仰を集めてきました。 修験道の舞台となった山道は、暖帯系の常緑広葉樹林と温帯系の落葉広葉樹林の境目にあたり、とりわけ草木や鳥の種類が豊富です。</p>
<p>「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」</p>	<p>「修験道」の歴史的な背景、山岳信仰の根本道場としての寺社仏閣、山伏と天狗伝説等のガイディングやトレッキングなどの自然体験を通して、日本の自然と文化の関わりをお伝えすることができると思いました。 また、修行という行為は、海外においても認知度が高く、また興味を喚起しやすいと考えました。 また、訪日外国人にアピールできる点として、日本の生物多様性のひとつの例として、その植生と生態系の豊かさの縮図を手軽に体感でき、かつ都心からのアクセスも容易であるため、大都市「TOKYO」の違った側面をお楽しみいただけるものと思います。</p>
<p>資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)</p>	<p><a href="http://takaosan.or.jp/taiken/hiwatari.html">http://takaosan.or.jp/taiken/hiwatari.html</a> <a href="https://mttakaomagazine.com/outline">https://mttakaomagazine.com/outline</a></p>

記入例 3

事前課題

外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート

地域名 ○○町

<p>資源の写真</p>	
<p>資源の名称</p>	<p>田園風景と稲作体験</p>
<p>資源の概要</p>	<p>ごく普通の田んぼですが、ファミリー層をターゲットとした農業体験や自然観察のフィールドとして活用がされています。</p>
<p>「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」</p>	<p>米を主食としない国の方々にとっては、稲作文化自体が珍しいものであると考えられます。 我々日本人にはなじみの深い「田園風景」も水の豊かな日本であるからこそできる農業形態の一つであり、ある一定の層の外国人には興味を喚起する資源の一つではないかと思えます。 大陸から日本列島に稲作が伝わった歴史から、日本人がコメを育てる文化を通して、自然とどのように共存してきたかという大きな視点での解説を通して、知的好奇心が旺盛な層にとっても興味深いツアーが提供できると考えます。</p>
<p>資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)</p>	<p><a href="https://tokyo-satoyama.jp/activity/#craft">https://tokyo-satoyama.jp/activity/#craft</a></p>

## 事前課題

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート①

地域名

資源の写真	
資源の名称	
資源の概要	
「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」	
資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)	

## 事前課題

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート②

地域名

資源の写真	
資源の名称	
資源の概要	
「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」	
資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)	

## 事前課題

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート③

地域名

資源の写真	
資源の名称	
資源の概要	
「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」	
資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)	